

2022年の木材輸入実績について

2022年の我が国の木材輸入には、前年に発生したいわゆる「ウッドショック」後の反動、ロシアのウクライナへの侵攻、さらに住宅需要の減退といったことが大きく影響したと考えられます。

本稿では、世界の動向を概観した上で、2022年における我が国の品目別の輸入実績を紹介します。

1 世界の動向

2021年のいわゆる「ウッドショック」の要因の一つとなった、世界的なコンテナ不足や海上輸送の混乱は解消し、高騰していた海上輸送運賃も年末にかけて下落傾向となりました。一方で、ロシアのウクライナへの侵攻により、供給不安が生じたことで木材需給がひっ迫し、産地価格が高騰しました。その後、米国の住宅ローン金利上昇により、住宅着工戸数が減少したため、木材需要は縮小し、北米製材メーカーは、工場の一時閉鎖や減産を実施しました。

2 ロシアによるウクライナ侵攻の影響

ロシアのウクライナへの侵攻を契機に、欧米によるロシア産木材等を対象とした経済制裁の発動や認証機関によるロシア材に関する森林認証の停止などが行われました。他方、ロシアによる非友好国（欧米諸国や日本など）へのチップ・丸太・単板の輸出禁止措置が導入されるなど、ロシアと他国・地域との間の木材貿易を取り巻く情勢が激変しました。

我が国も、国際社会と協調し、ロシアのチップ・丸太・単板の輸入を禁止しました。また、ロシアへのWTO最恵国待遇を撤回し、製材等の関税率を引き上げました。

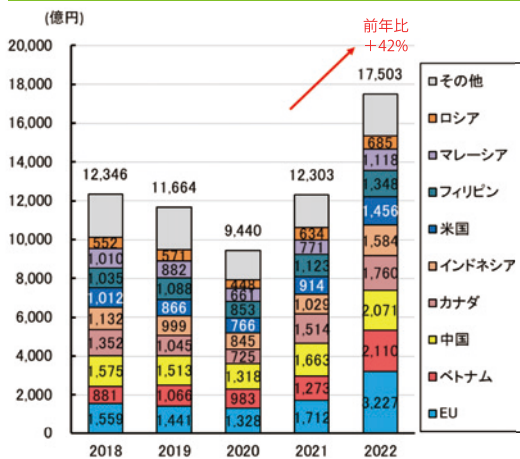
3 2022年の我が国の木材輸入実績

① 国別の輸入額

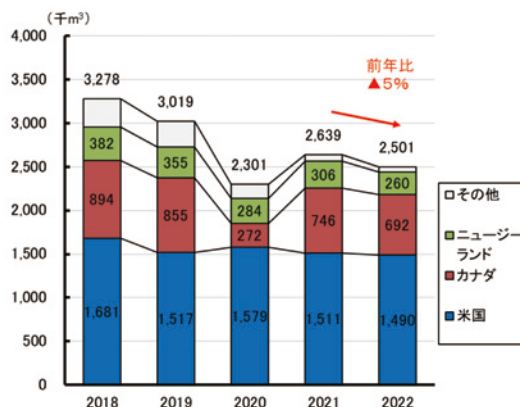
2022年の木材輸入額（HS44類）は、前年より42%増加し、1兆7503億円となりました。前年に引き続き2年連続で増加しています。

国別で見ると、EUが3年連続で第一位となりました。二位はベトナムで、前年の四位から順位を上げました。その他の主要国からの輸入額は、産地価格の高騰や円安などの影響により、軒並み増加しました。

木材輸入額の推移



丸太輸入量の推移



② 丸太

2022年の丸太輸入量は、前年より5%減少し、250万m³となりました。

国別で見ると、米国（シェア：60%）は、前年より1%減少の149万m³となりました。年初の産地価格高騰、その後の円安で輸入コストが大幅高くなったものの、価格低下等により前年と概ね同水準となりました。

カナダ（同28%）は、前年より7%減少し、69万m³となりました。日本国内の合板の供給不足により2022年前半は引き合いが強まったものの、後半は需要が急減したため、輸入量が減少しました。

ニュージーランド（同10%）は、前年より8%減少し、26万m³となりました。

3 製材

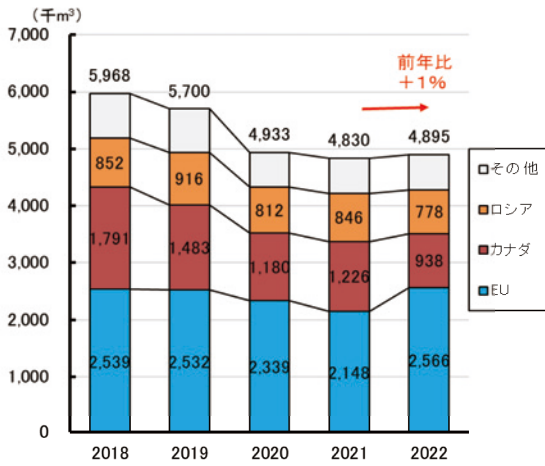
2022年の製材輸入量は、前年より1%増加し、490万³m³となりました。

国別で見ると、EU（シェア：52%）は、前年より19%増加し、257万³m³となりました。ロシアのウクライナへの侵攻により、木材不足の再来が懸念されたことから、輸入量が増加したものの、年末にかけて輸入量は減少しました。

逆に、カナダ（同19%）は、前年より20%減少し、94万³m³となりました。産地価格が値上がりしたことで、輸入量が大幅に減少しました。

ロシア（同16%）は、前年より8%減少し、78万³m³となりました。

製材輸入量の推移



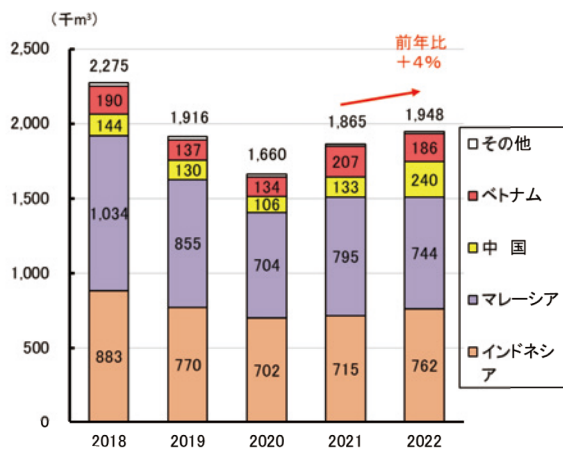
4 合板

2022年の合板輸入量は、前年より4%増加し、195万³m³となりました。

国別で見ると、インドネシア（シェア：39%）は、前年より7%増加し、76万2千³m³、逆にマレーシア（同38%）は、前年より6%減少し、74万4千³m³となりました。2021年契約分が年始めに遅れて輸入されたものの、その後、輸入量は減少しました。

一方、中国（同12%）は、前年より81%増加し、24万³m³となり、ベトナムを抜き、合板輸入量で第三位となりました。

合板輸入量の推移

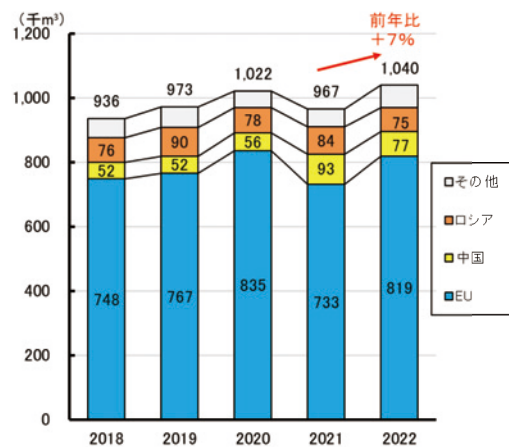


5 集成材

2022年の集成材輸入量は、前年より7%増加し、104万³m³となりました。

輸入の大宗を占めるEU（シェア：79%）からは、前年より12%増加し、81万9千³m³となりました。製材と同様にロシアのウクライナへの侵攻により、木材不足の再来が懸念されたことから、輸入量が増加したものの、年末にかけて輸入量が減少しました。

集成材輸入量の推移



資料：「貿易統計」（2022年は確々報値）

4 おわりに

2022年の木材輸入量を品目別にみると、丸太は減少した一方、製材、合板、集成材は増加しました。しかし、年の後半は、住宅需要の減退等により、前年同月比で減少傾向が続きました。

林野庁では、引き続き、木材の輸入動向に関する情報を積極的に提供してまいります。

※記述の出典等については、林野庁ウェブサイトに掲載した「2022年の木材輸入実績」をご確認下さい

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyuu/attach/pdf/boueki-9.pdf>

